

会議要録

会議の名称	平成２２年度 第２回文化財保護委員会
日 時	平成２２年１１月８日（月）午後１４：００～
場 所	和光市役所 ４階４０２会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】１０名中、９名が出席 田中明、副島元子、富岡進、小田部玲子、矢崎康彦、 後藤友子、鈴木夕季、磯崎茂、森朋久 ※欠席者：１名 柳下稔 【事務局】 大久保昭男（教育長）、富澤勝広（教育部長）、星野裕司（生涯学習課長）、 亀井義和（生涯学習課長補佐兼文化財保護担当統括主査）、 中岡貴裕（文化財保護担当）、渡辺潤（文化財保護担当）
傍聴者	０名

１ 開会

事務局から次の事項を確認。

- ①本日の会議は公開である。
- ②会議録は要点記録とし、作成後公開する。
- ③会議中、会議の様子を撮影し、必要に応じて和光市ホームページ等で公開する。

２ 教育長あいさつ

３ 文化財保護委員長あいさつ

４ 協議・報告

（１）平成２２年度事業中間計画について

<事務局より説明>

- ・平成２２年度上半期は、埋蔵文化財包蔵地内を申請に基づき９件の試掘を実施した。なお、試掘により遺物・遺構が確認された場所がなかったため、本発掘調査は０件であった。
- ・遺跡現場見学会は、上半期に本発掘調査が無かったため実施しなかった。
- ・和光市古民家愛好会と協働型委託している「新倉ふるさと民家園」は上半期入場者数６，９０８人で、伝統行事を４回、季節行事を３回実施した。それぞれの行事の入場者数は、伝統行事は６６４人、季節行事は３５４人だった。
- ・文化財パトロールとして、屋外に展示してあるものについて、別件で所在地周辺を訪れる際に、随時所在確認を行った。

<報告等>

矢崎委員から10月9日に新倉ふるさと民家園で「新倉の昔話」のテーマで講演したことの報告があった。

<質疑>

特になし。

(2) 長照寺大イチョウ剪定等の経過報告について

<事務局より説明>

◆経緯と今後の対応

平成22年3月10日に神奈川県鎌倉市の鎌倉鶴岡八幡宮のイチョウが倒木したことを受けて、長照寺大イチョウについてNPO法人樹木生態研究会に業務委託し、3月29日に詳細診断を、続いて7月7日に詳細診断を行った。

樹木医診断を実施した結果、大イチョウの剪定と土壌改良が必要との診断書が、樹木生態研究会から提出された。また、この結果をふまえ、市と長照寺が協議した結果、和光市文化財保護条例第11条に基づく補助金について、9月予算を計上した。9月議会にて大イチョウの剪定と土壌改良の予算が審議され、可決された。

予算の可決を受け、平成23年1月24日（月）から2月4日（金）までのうち、剪定と土壌改良を実施する予定で、長照寺と樹木生態研究会と事務局が調整している。

なお、この期間に、現地で文化財保護委員の立ち会いをお願いしたい。

【委員長】

事務局より説明のあった件について、大イチョウの剪定と土壌改良を実施する期間中に、どなたか文化財保護委員の立ち会いをお願いしたい。

特に有資格者である小田部委員（樹木医有資格者）に立ち会いを是非お願いしたいが、いかがか。

【小田部委員】

了解。

<質疑>

特になし。

(3) 午王山用地取得と今後の整備計画について

<事務局より説明>

午王山土地取得については、9月補正予算にて取得費が可決された。

今後は、特別緑地保全地区と一体化された活用、また将来的には遺跡公園として史跡整備を行い、市民の歴史学習や郷土への愛着と誇りを醸成するための土地利用を考えている。

＜質疑・意見＞

【委員】取得した面積は何㎡か。

→【事務局】306㎡である。

【委員長】自然を生かして夏の間はホテルを放つなど、今後皆で午王山を活用する方法を考えていきたい。

（４）市制施行40周年記念事業 絵図・地図・写真展の開催について

＜事務局より説明＞

市制施行40周年記念事業『絵図・地図・写真展 郷土のあゆみ』を12月3日（金）～19日（日）の間、和光市民文化センターの展示ホールで開催する。伝承された村絵図、近代測量により作成された地図、昔の様子がわかる写真の展示を行う。開期中の12月5日（日）に第1部が井本昭氏による『戦前・戦中の和光 ～市内にもあった軍需工業～』、第2部が森朋久文化財保護委員による『絵図・地図で昔の和光を語る ～絵図・地図の読み方、見方～』のテーマで特別講演会を、各80名ずつの定員にて開催する。文化財保護委員の各位からも周知方よろしくお願ひしたい。

＜質疑＞

【委員】和光市駅構内の通路に写真が展示されていたが生涯学習課と関連がある展示か。

→【事務局】秘書課が主体で市内在住の方から提供を受けた写真を展示してあるものである。

【委員】展示資料の内訳を伺いたい。

→【事務局】村絵図、地図が約10点ずつ、写真が過去の写真をおよそ50点、現代の比較用のそれと同数程度になる予定である。

【委員】森委員の講演内容を伺いたい。

→【森委員】村絵図を時代別に並べていき、大和町が発足した頃の地図と併せて、市内の寺社など馴染みのある箇所を示したりしながら、解説していきたい。和光地域の特徴や史跡についても話したい。

（５）和光市文化財保護条例に基づく文化財の指定について（諮問）

＜事務局より説明＞

和光市文化財保護条例第6条第4項に基づき、『和光市埋蔵文化財調査報告書第20集 市内遺跡発掘調査報告書1』に記載のある「漆台遺跡第一次調査出土須恵器円面硯及び伴出遺物」を和光市文化財指定にしたいと諮問する。この須恵器円面硯は、調査報告書の記述のとおり、漆台遺跡第一次調査で出土され、その形状及び出土状況から平安時代の9世紀第2四半期末～第3四半期と考えられている。完成形に近い出土は近隣市においても珍しく、同時期に硯を使用し墨書していた人が存在していたことを証明する資料であり、新羅郡との関わりも想像することができ、当市にとって貴重な考古資料であり、文化財指定の価値があると考えられる。

【教育長】

「漆台遺跡第一次調査出土須恵器円面硯及び伴出遺物」を和光市文化財指定として諮問する。また諮問に対する答申を希望する。

【委員長】

お受けする。諮問については、答申（案）取りまとめ役を副島副委員長にお願いしたい。また、事務局には答申（案）作成のサポートをお願いしたい。

【副委員長】

お受けする。他委員と共同で答申（案）作成をしたい。

【委員長】

よろしくお願いします。

また、森委員にも答申作成への協力をお願いしたい。

平成23年2月頃を目途に答申（案）をもらいたい。

（6）その他

＜委員からの意見・要望等＞

・新倉ふるさと民家園の駐車場増設について

【委員】新倉ふるさと民家園の見学者用駐車場の台数増設について検討してほしい。

【委員】保育園の仮設園舎があった土地など、10台分位は確保した方がよいのではない
か。

→【事務局】民家園前に4台分あるが、これ以上増やすことは地形上の制約により難しい。

【委員】介護が必要な方が来園された場合は、民家園内に車両に進入し入場してもらうなど安全への配慮は行っている。

5 閉会